

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 12月 12日

【評価実施概要】

事業所番号	0171100225		
法人名	有限会社 ケアリンクス		
事業所名	グループホームせせらぎの家		
所在地	〒066-0069 千歳市新星2丁目2番3号 (電話) 0123-23-6151		
評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ		
所在地	江別市大麻新町14-9 ナルク江別内		
訪問調査日	平成21年12月3日	評価確定日	平成22年1月12日

【情報提供票より】 (平成21年11月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 3月 15日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	4 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 6 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費30,000円 暖房費(10~3月)5,000円
敷金	(有) (45,000 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 100 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(平成21年12月3日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名		
要介護3			要介護4	1 名	
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 79.5 歳	最低	64 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	伊勢内科小児科クリニック・佐藤整形外科・宮川歯科医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、JR千歳駅前のほぼ一直線の支笏湖通りで、新星バス停のすぐ側にある。利用者、家族にとっても行き易い位置にある。事業所前は、新星公園で、北側の山稜には四季折々に桜や紅葉が見られ、エゾシカの親子の姿も見える。事業所内は、ホール、台所、浴室、トイレさらに両側に事務所と居室があり、効率よく配置構成されている。利用者と職員の話し声や笑顔がみられ、和やかな雰囲気ですっきりと家族的な生活を送っている。近所の小学生が遊びに来たり、道路向い側の保育所の園児とも訪問しあう交流をして地域にとけこんでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価事項で、家族への報告、業者との交流、介護計画の見直し、利用者の終末期への対応、災害対策等の改善に職員全員で取り組み今後一層利用者中心に努めようとしている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	1ユニットを分割(ミニ会議)して、全員が分担して自己評価に参加した。全員が自己評価を元に、外部評価を理解、把握し、サービスの質の確保と向上に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。利用者、家族、町内会、地域包括支援センターにも参加してもらい、広く意見を聞き、関係各所に討議内容を知らせて、サービスの質の確保と向上に努めている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の面会時に利用者の近況報告をしている。各種会議や面会時に家族の思いを聞いている。その内容を記録し、ケアプランやサービスに反映させ、利用者の精神的、身体的な推移を毎月モニタリングし、家族に話している。毎月の便りには、利用者の総合的な1ヶ月の様子を記載し報告している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会のお祭りやごみ拾いなどの行事に参加している。地域内にある保育所と行き来しあったり、小学生が遊びに来たりしている。また事業所の収穫祭等のイベントに地域住民を招き交流を深めている。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念と基本理念は、朝夕の申し送り時に全員で唱和している。その日のケアが出来るか職員全員が、確認している。理念を事務所や利用者の居室に掲示している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝夕の引継ぎ時職員全員で、理念の理解を確認し、唱和している。気持ちを新たに、利用者に接するよう、サービスの質の確認、向上に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の行事に参加し、地域内の保育所や小学校の行事に相互に参加して、交流を深めている。事業所の収穫祭等の行事に地域住民を招き交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価は、毎年実施して改善点を客観的に確認と把握し具体策に取り組むよう努めている。サービスの質の確保と向上に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。利用者、家族、町内会、地域支援包括センターの意見を聞きサービスの質の確保と向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市のサービスや制度の内容を把握し、消防署や地域包括支援センターとの連携に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月の「便り」で事務所の様子や職員の異動等、担当職員から利用者の生活の様子を知らせている。また電話連絡を希望する利用者への対応も行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来所等機会ある毎に家族の思いを聞き、サービスに反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は、最小限におさえている。新任職員となじみの関係をしっかり作ってから異動するようにして、利用者が、ダメージを受けないよう配慮している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に参加する機会を多く設け職員のレベルアップに取り組んでいる。新人研修を行い、又全職員年1回以上、事業所研修を行い、職員自らレベルアップの環境作りを行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会を通じて他事業所とも交流の機会を持ち、お互いのサービスの質の確保と向上に努めている。	○	管理者等の一部の職員だけでなく、全職員が他事業所と情報交換できる機会をもち、より一層のサービスの質の確保と向上を期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者・家族には契約から利用開始までの間に事業所を見学して雰囲気を味わい、安心感を持って利用していただけるようにしている。入所後も職員や他の利用者と相互に馴染みを深めながら、利用者が安心して生活できるように心がけている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生経験が豊富で、人生の先輩としてお互い信頼し合い、また職員が教えてもらうこともあり、支え合う関係を作っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者、家族の思いを聞き、ケアプランを作成している。利用者が、自分らしい暮らしが出来るように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員、スタッフ、職員が話し合い、介護計画を作成している。毎月ユニット会議で、意見交換し利用者の希望も入れて作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回の介護計画の見直しを実施している。利用者に変化があった場合は介護支援専門員や関係者で話し合い気づきボード、ノートを活用しモニタリングして、その都度見直している。		
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の希望を聞き、家族と相談の上、また家族の状況により、外出、受診等を柔軟に提供している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回、事業所の主治医の診察を受けている。利用者の状況により、利用者の希望する病院の受診を支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時、家族から終末期の希望アンケートを取っており、主治医の元で情報を管理している。主治医、利用者、家族、職員で情報を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々プライバシーの確保に心がけ、利用者に接している。新人職員には、プライバシーの大切さを研修させている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者からその日の過ごし方を聞き、利用者の希望で過せるように職員間で申し送りをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理、盛り付け、片付けに利用者が自発的に参加して、声かけ合いながら、お互い支え合い楽しく行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調によるが、希望に応じて、いつでも入浴できるようにしている。毎日入浴する利用者もいる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事、洗濯、掃除など利用者の役割が定着してきている。見出せない利用者には職員と一緒に取り組んでいる。散歩やドライブも楽しんでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、畑仕事など利用者が、懐かしく思い出す支援をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上、夜間のみ施錠している。日中は利用者が自由に散歩、日光浴、洗濯物干し等出来るように施錠していない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は、防火、地震にそなえて年2回（春、秋）消防署の立会いを受け実施している。町内会とも事業所の理解をしてもらうため合同訓練している。	○	非常口の利用に当り、外側の避難通路に手すりや柵がなく、段差があるため通路側に落ちないように安全、安心のための方策を検討するよう望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の指導を受け、利用者の食べる適量やパターンを理解し、利用者個々のチェック表により食事、飲水の確認をし 栄養のバランスや水分の把握をしている。好きな食べ物や飲み物で水分調整するなどの工夫をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下や居室などに利用者や職員の写真を飾っている。ホールには、カーペットを敷きランプやゲームを楽しみ、生活しやすく、お互いに楽しく過せるようにしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力を得て、馴染みのある家具や備品を利用者の居室に備え、本人が居心地よく過せるように工夫している。		

※  は、重点項目。